



21西尾

21世紀にける西尾市民会議 〈2021.9.27〉 No.147



市長さん

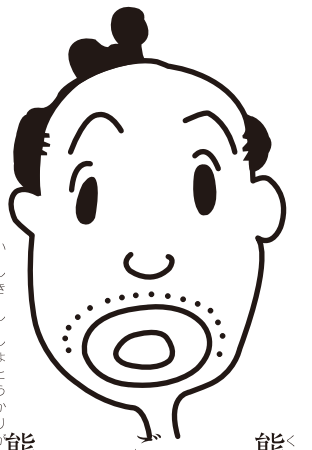
PFIの契約…

どうするの??!!

No.147

ご覧下さい。ご意見もどうぞのりこのホームページ <http://www.noriko.to/>

のりこ & のりゆきの 辛口議会だより



熊さん

「ご隠居さん、9月議会でいろんなことが分かったんだってえ?」

ご隠居

「そう、これまでSPCに付度して、沈黙してたことを市長が喋り始めたのさ。」

熊さん

「そうなんだ!!」

「一色支所棟仮囲い撤去費用8200万円を、市が負担することにしたのは、市長は、『その支払で、その後の交渉がうまく進む』と思ったからだと思かした。」

熊さん

「やつぱり!!しかし、あれは、SPC側のいわば不法占拠の仮囲いだろ。すぐに設置差止の仮処分や撤去を求める訴訟を起こしていれば、支払わずに済んだんじゃないかい?」

ご隠居

「市が、工事中止の通知後に、SPCが勝手に仮囲いをしたのに何もなかったのは、市長のミスだろうね。」

熊さん

「その支払は、市長は裁量の範囲内というが、市民は、認めちゃいないぜ。原資は、市民が納めた金なんだ。」

ご隠居

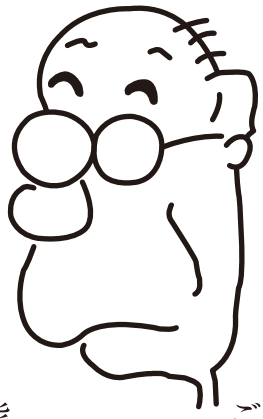
「その上、市が8200万円の支払いを決めた翌日、SPCからは新たな訴訟が起こされたんだからね。そして、今もその裁判は続いている…。」

熊さん

「『出鼻をくじかれた』と市長は言うが、まるで『子ども扱い』されてるじゃねえか!舐められたもんだぜ。」

ご隠居

「SPCの岩崎代表はトツプ会談でも少しも譲らず、話をコマ切れにして、市から金を引き出すとする、したたかな商売人のようだ。」



熊さん 「それに引き換え、純朴(?)な市長は、駆け引きなどできない、SPCには、まさに子どもに見えただろう。」

ご隠居

「市長は『SPCも地元業者だから、丁寧に合意形成を図りたい』と考えてきたが、これ以上は『協議』を続けていくのは難しいと思うに至った!というが、気付くのが遅いよ。協議は4年間で1ミリも進んでない。」

熊さん

「でも、市長はまだ『合意』解除をめざすと言ってるぜ。」

ご隠居

「だが、調停が不成立で終わったこの7月以降、市長は、3回も『合意解除』に向けての『協議』を申し入れて、断られ続けている。いい加減に目を覚まさないやあ。」

熊さん

「市民はいい面の皮だよなあ。協議に応じなくても、SPCには、毎年6400万円もの金が市から支払われている。」

ご隠居

「これ以上、市長が『協議』にこだわれば、SPCに足元を見透かされて、『協議』に応じる『見返り』に大きな『おみやげ』を要求されるのがオチじゃないか!」

熊さん

「市長は、4年前の初当選の数カ月後に、見直し反対の議員に、見直しはヤメ(たと受け取られるような発言をしたんだら、大丈夫かい!?)」

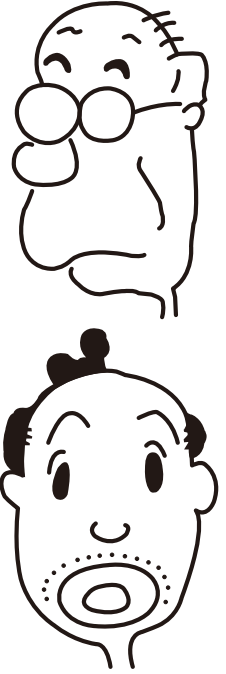
ご隠居

「何回やつても話が煮えない『トップ会談』なんてムダだね。」

熊さん

「そうだよ、それでも、市長は、まだ不毛な協議を続けるのかよ。市民の堪忍袋の緒が切れる前に、早いとこ、SPCに『解除』を通告しろよオ!」

※SPCとは、特別目的会社 Special Purpose Company の略で、西尾市方式 PFI 事業のためだけに作られた会社「(株)エリアプラン西尾」です。



契約は欠陥だらけ!! 極悪非道その2

熊さん 榊原前市長がずっと秘密にしていた西尾市方式PFI事業(198億円)の施設毎の費用(サー

ビス対価)が、やっと全面公開されたね。

熊さん 市民が公開を求めて裁判をしていた問題だよ。サービス対価なんて、本来、最初から契約書に

付けてなきゃいけないんだろ!?

熊さん そうだよ。支払い明細だからね。どこの自治体のPFI契約でも必ず記載してる。

熊さん 総額が決まっているだけで、明細がわからないなんて、世間に通用しないよなあ!!

熊さん 国の「ガイドライン」でも、市の契約規則でも契約書に必須と定められている。個別の事業の内容も値段も判らないんじゃない、契約金額が妥当

かどうか判断できないだろ。

熊さん そりゃそうだ。ところが、5年前の契約書には、それがついてなかった…わけだ。

熊さん そう。余りにも契約を急いだ榊原前市長が端折ったからだよ。西尾市方式の契約書がルール無視の欠陥品であることが分かるね。

熊さん 契約から半年後の平成29年3月に、市がSPCとの密談で作ったのが「サービス対価の協定書」で、それが今回、やっと公表されたんだ!!

熊さん そう。西尾市方式PFI事業は、320億円もの巨額で、1社だけに、30年間も任せしてしまう…市民や議員から懸念や反発が大きかった。

熊さん どうしても契約成立に漕ぎ着けてカッつけた榊原前市長は、金額を198億円に減らすことで誤魔化して、議会を通そうとしたんだよな。

熊さん そいつのこと。インチキはまだあるよ。金額や内容を変更した場合、「事業者を募集し直すなればならない」。条件が変わるのだから、業者間の公平を図るためには再募集は当然だろ。ところが、前市長は、それも無視した…これまたインチキだ。

熊さん それで、「PFIの見直し」は、欠陥山盛りの契約の荒療治をするという作業になるんだ!!

熊さん まだある。後付けの「サービス対価の協定書」も、本来なら、議会の議決が必要なんだよ!!

熊さん 前市長は、それも無視した。当時の市長室は、まるで、無法地帯だ。

熊さん 榊原前市長が全国初と自慢した「西尾市方式」は、実は、「チャランポラン方式」だったんだね。

熊さん

熊さん

熊さん

熊さん

熊さん

熊さん

熊さん

熊さん

熊さん

一色3館の電気料、2倍も払ってる!!

熊さん 一色3館の電気料は、どうなった? ちゃんと

ほか3館の電気料は、どうなった? ちゃんと

熊さん

実費払いに改善されたかい!? 聞いて驚くなよ。令和2年度も電力会社に実際に支払ったのは3館合計で921万円余だ。ところが、SPCから請求されたサービス対価の電気料金は2383万円だよ。1460万円も余計に払わされてるんだよ!!

熊さん

他人の金だと思ってる…ホント、ひでえなあ!! 一体、サービス対価って何なんだよ?

熊さん

PFI事業特有の価格設定のやり方だよ。契約期間中の経費を毎年いくらずつ払うのか、契約の時に予め決めてしまうのさ。

熊さん

じゃ、決め方がいい加減だったんだ。そういうこと。当時は、電力自由化ブームで、平成26年頃から、市の施設全体の電気契約を新電力にシフトして、大幅に安くできてたんだ。

熊さん

PFI契約は、その2年後の平成28年だろ。安い電気料が反映されてなきゃオカシイぜ。

熊さん

榊原前市長が、大雑把に電気料のサービス対価を決めたツケだね。

熊さん

だけど、市長は、去年の決算委員会では、精査するっていうようなことを言ってたぞ。

熊さん

ところが、市側は、SPCとは全然、交渉してないという怠慢だ。

熊さん

おいおい冗談はやめて欲しいね! この3年間のSPCのボロ儲けは、3000万円以上になるんだぜ。

熊さん

今年の決算審議では「契約解除を協議の主題にするから電気料のことは交渉しない」と、市側はいうんだが…。

熊さん

じゃ、この後もずっと法外な「サービス対価」のまま、俺らたちの納めた金で、SPCにボロ儲けをさせ続けるのかよ! 何とかしろよオ!

「包括連携協定」は見直そう!!

熊さん

「包括連携協定」ってえのを結んでいったんだってえ!?

熊さん

ああ。健康・福祉関連の事業で、スギ薬局が市の講座に栄養士や薬剤師を派遣するとかね。がん検診も、スギの駐車場を借りてやってたっ

熊さん

ていうじゃないか? 公共施設でやるだけでは、なかなか受診件数が伸びないので、連携したというんだが…。

熊さん

だけど、それなら、他の業者にも公平に声をかけるべきじゃないのかい?

熊さん

そうだね。「包括」という名前がついただけで、市の事業に優先的に参加できるというのは考えものだ。

熊さん

参加したくっても、中小の事業者じゃ包括的提携なんて、手が届かないぜ。

熊さん

西尾市方式PFIもそうさ。包括という名前で、いろんな事業を言めた拳句、長い間、特定業者だけを優遇して(業者間の)競争性を失わせてしまったんじゃないかねえ。